

2023年6月28日
東日本旅客鉄道株式会社
盛岡支社

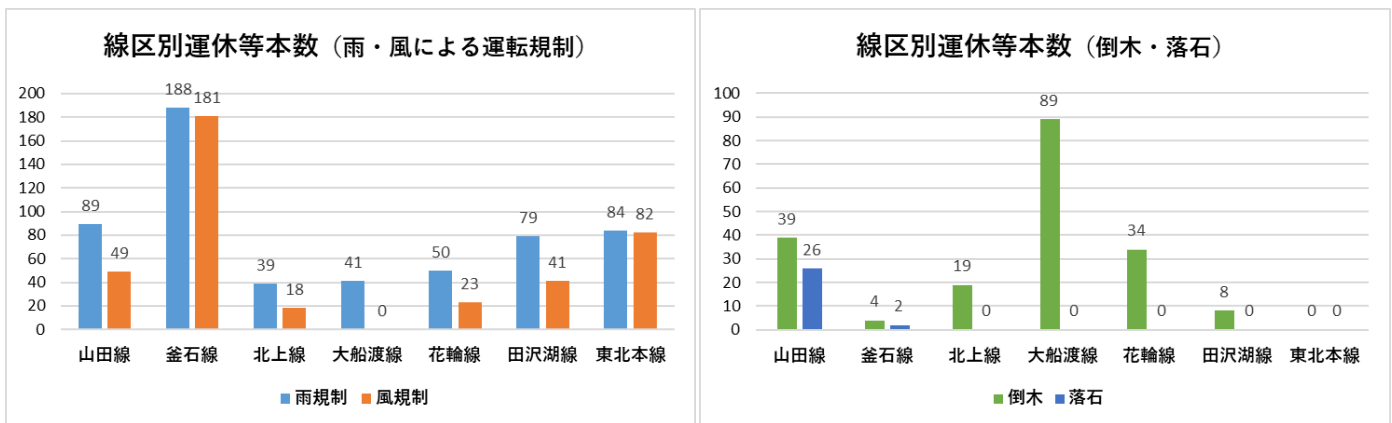
降雨等による運転規制及び輸送障害の発生状況と防災対策の取組み

JR東日本盛岡支社管内では、降雨などの自然災害に備え、鉄道沿線の構造物に対して日ごろから様々な取組みを安全・安定輸送に向け実施しております。最近では鉄道を取り巻く気象環境は厳しさを増しており、予測しえない自然災害への備えの重要性が増しております。

降雨や強風に対する運転規制状況や落石、倒木などに対して実施している対策等についてお知らせします。

1. 運転規制及び輸送障害の発生状況

- ・降雨や強風による運転規制の発生や倒木や落石の線路への支障によって輸送障害が発生しています。



※2020～2022年度での運転規制・輸送障害発生時の運休本数、30分以上の遅延が発生した列車本数を集計

2. 降雨に対する取組み



雨量計



水位計



斜面の崩壊防止（のり面工）



河床の安定性向上（護床工）

- ・ 鉄道沿線では約 10km 間隔に雨量計を設置し、河川増水の恐れがある橋りょうには水位計を設置しています。
- ・ これらの観測機器により得られたデータをもとに、基準値を超えた場合は速度規制、運転中止といった運転規制を実施することで、列車運行の安全性を担保しています。
- ・ ハード対策として、盛土などの斜面の崩壊防止を図るためにコンクリート製格子枠を設置する工事や橋脚の周りにコンクリート製のブロックを設置し河床の安定性を高める工事を実施しています。
- ・ 昨今の局所的な豪雨に対して、2023 年 6 月 18 日よりレーダ雨量を活用した速度規制を導入し、詳細に降雨の状況を把握することでさらなる列車の安全性向上を図りました。

3. 強風に対する取組み



風速計

- ・ 鉄道沿線で風の影響を強く受ける箇所に風速計を設置しています。
- ・ 観測機器により得られたデータをもとに、基準値を超えた場合は速度規制、運転中止といった運転規制を実施し、列車運行の安全性を担保しています。

4. 倒木に対する取組み



樹木の点検状況



伐採状況

- ・樹木の健全度や線路への近接度合により、伐採の優先順位を設定し、倒木のリスクが高い樹木から計画的に伐採することで、輸送障害の発生を防止しています。
- ・当社用地外から線路や架線に支障する恐れのある樹木を発見した場合、土地所有者と協議の上、枝払いや伐採といった処置をおこなっています。

5. 落石に対する取組み



斜面の検査状況



斜面の検査状況



落石検知装置



落石覆い

- ・線路沿線の落石のおそれのある斜面については、定期的な検査や斜面内にある不安定な石の整理を実施しています。
- ・落石が列車と衝突することを防止する取組みとして、落石が線路内に侵入することを防ぐ対策（落石覆い、落石防護網等）、落石が発生したことを検知する機器（落石検知装置）の設置を進めています。